

# スポーツの力

ちから  
～する・みる・ささえる～

FIFA 女子サッカーワールドカップ  
なでしこジャパンを応援しよう

7月に行われる「FIFA 女子サッカーワールドカップ」の開催は今年で9回目を迎えます。日本代表チームは「なでしこジャパン」の愛称で知られ、これまで連続出場を果たしています。

特に、2011年のドイツ大会優勝時にキャプテンであった澤穂希選手は、大会 MVP と得点王のタイトルを獲得するなど大活躍しました。今大会でも長谷川唯選手や岩淵真奈選手など、世界を舞台に活躍する選手が多数選出されています。また、元日本代表で「伊賀 FC くノ一（当時）」でも活躍した宮本ともみさんも日本代表のコーチとしてチームを支えています。

- ◆なでしこジャパン試合予定（すべて日本時間）
- 第1試合 ザンビア戦  
7月22日(土) 午後4時～
  - 第2試合 コスタリカ戦  
7月26日(水) 午後2時～
  - 第3試合 スペイン戦  
7月31日(月) 午後4時～

「伊賀 FC くノ一三重」もアマチュア国内最高峰の「なでしこ1部リーグ」で優勝をめざして大奮闘しています。試合は上野運動公園競技場をはじめ全国で開催されていますので、ぜひ足を運んでみてください。

今年の夏は「なでしこジャパン」と「伊賀 FC くノ一三重」から目が離せませんね。

【問い合わせ】 スポーツ振興課  
☎ 22-9635 FAX 22-9694  
✉ sports@city.iga.lg.jp



▲写真②



▲写真①

渡り初めとは、橋や道路などが完成、開通した際に行う儀式のことです。その地域の親・子・孫の三世代夫婦が揃う一家や自治体の関係者ら先頭に、完成した橋や道路などを最初に渡って祝う儀式です。長寿の人や高齢の夫婦が先頭になる場合もあり、橋や道路が長く安泰で繁栄することを願って行われました。

写真①は昭和7（1932）年5月21日の渡り初めの様子です。神主の後ろの先頭集団には当時の上野町長（田山八十吉）の姿もあります。歩く人びとの紋付き袴の和装や軍服姿が多いことも昭和初期という時代を反映しています。また、当時の新聞記事によると、余興として花火の打ち上げや四日市の阿倉川獅子舞、芸者の手踊りなどが行われました。

写真②は昭和49（1974）年7月10日の渡り初めの様子です。木津川の河川改修工事を行うにあたり、木興橋も架け替えが行われました。橋の東詰で祝辞やテープカットなどの行事を行い、長田小学校生徒による鼓笛隊を先頭に三世代夫婦ら地元関係者が橋を渡って祝いました。夏に行われたため背広を脱いでいる姿が見られますが、歩く人びとには洋装やスーツ姿が多く、服装から時代の移ろいを感じられます。

文化財課歴史資料係  
☎/FAX 41・2271

## 伊賀の歴史余話 29

### 長田木興橋の渡り初め

交通の要である橋の修繕や完成は、いつの時代も地域を挙げてのお祝いごとでした。伊賀市を流れる木津川流域の長田川に架かる木興橋で「渡り初め」を行っていた様子の写真が残っています。

## 明日に向かって ～差別をなくしていくために～

人権について考えるコラムです。

### 住宅確保要配慮者 —住宅課—

日本の65歳以上の一人暮らし高齢者は、男女ともに増加傾向にあります。単身高齢者だけでなく、低所得者や障がい者、外国人、単身子育て世帯などいわゆる「住宅確保要配慮者」は、希望する住まいになかなか入れない現状があります。そこには、「家賃滞納や孤独死などのリスクがある」という家主の不安があります。

2020年に実施された「伊賀市人権問題に関する市民意識調査」では、家主が賃貸マンションを高齢者であることを理由に貸すことを断ることにについて全体の40.7%が「誰に貸すかは家主の自由だから断っても人権侵害とは言えない」と回答しています。また、外国人であることを理由に断ることにについては全体の46.1%が「人権侵害とは言えない」と回答しています。

実際に伊賀市に寄せられた相談の中でも、障がいがあることや外国籍であることを理由にアパートへ

の入居を断られたというケースがあります。住宅確保要配慮者であることを理由に入居を断ることは、その人が自分らしく生活していく権利を阻むことになります。

国は2017年から、①住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅（セーフティネット登録住宅）の登録制度、②登録住宅の改修や入居者への経済的な支援、③住宅確保要配慮者に対する居住支援の3つの柱から成り立つ「セーフティネット住宅」の制度を設けました。住宅セーフティネットの充実のためには、住宅行政と福祉行政が連携して、住宅確保要配慮者のニーズの把握に努めることと、制度を周知・提供しつつ、多様な登録住宅を供給することが求められます。

市でも、庁内で連携し、家主と住宅確保要配慮者の双方に対する居住支援策を行うなど、住宅セーフティネットの構築に取り組んでいきます。

■ご意見などは人権政策課 ☎ 22-9683 FAX 22-9641 ✉ jinken-danjo@city.iga.lg.jp へ

## 伊賀市役所 本庁舎 6月のアート情報



### ◆4階市民ミニギャラリー

- 第18回伊賀市民美術展覧会  
（市展「いが」）高校生入賞作品  
絵画「まなざし」  
白野 彩夏さん  
（上野高校）
- 絵画「シナリオ2」  
藤岡 楓万さん  
（上野高校）
- 絵画「小春日和」  
西原 乃愛さん  
（上野高校）

### ◆1階玄関横

- 第18回伊賀市民美術展覧会  
（市展「いが」）高校生入賞作品  
彫塑工芸「猫広場」  
山本 裕暉さん  
（伊賀白鳳高校）
- 書「臨 蘇軾黃庭堅跋」  
中住 真夕さん  
（上野高校）
- いけばな（伊賀華道協会）

※都合により展示物が変わる場合があります。  
※観覧時間は市役所開庁時間に準じます。  
【問い合わせ】 美術博物館建設準備室 ☎ 41-0400 FAX 22-9694